

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	笑顔で登校 笑顔で下校 思いやりあふれる永久津っ子の育成 学校・家庭・地域がいった地になって144年の絆のかけはしをつなぐ
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策 【学びたい度 70% (H28 59.4%)】	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	<p>【目標】 学力向上の推進</p> <p>◎ 「分かる授業」「できる授業」を目指した指導方法等の工夫改善等を通して、児童一人一人が学力の向上を実感できるようにする。</p> <p>【手段・ゴールイメージ】</p> <p>1 児童の実態を踏まえた単元計画、個に応じた指導と支援、見届けの充実</p> <p>2 OJTを活用した意識改革、授業力の向上</p> <p>3 立腰指導と基本的な学習習慣の徹底</p> <p>4 家庭学習等の内容・方法の工夫、家庭・地域との連携</p>	<p>1 児童の自己評価「勉強したことはだいたい分かっている」で「とてもよい」「よい」の児童が94.3%であった。学力テストや単元テストで一人一人の達成状況を把握し、個に応じた指導を行うことができた。個に応じた指導を充実させるため、担任以外の教職員が、3～5年生の算数科の授業に加わり、二人体制による授業を実施した。Webテストを計画的に実施した。今後は、個人差への対応をするためにさらにきめ細かな指導を行う必要がある。</p> <p>2 校務分掌を活用してOJTを実施し、学び合い、教え合う場面を設定することができた。校内研究において、小中一貫して德育に関する研究を推進してきた。(校内研16回、小中合同研14回)年間一人1回の授業研究を行い、授業力向上に努めてきた。今後は、1月実施のCRTの結果を受け分析を行い、児童の指導に役立てていきたい。</p> <p>3 月目標に立腰を位置づけ重点的に取り組み、児童の意識も高まり、話を聞く姿勢が良くなってきた。まだ、持続できない児童も見られるので継続して取り組んでいく必要がある。鉛筆の持ち方について定期的に調査し、重点的に取り組み、向上が見られた。(7月24.3%、10月57.1%、12月68.6%)児童意識調査でも、気を付けている児童が55.7%と低かった。今後、さらに向上するように、児童だけでなく保護者や教職員の意識の向上を図り、指導の徹底を図る必要がある。</p> <p>4 学級担任の指導により、家庭学習の習慣が身に付いてきた。毎月、「学力向上・親子読書週間」を設定し、保護者の協力を得ながら、家庭学習の充実に努めることができた。また、放課後子ども教室では、地域の方々に児童の学習指導を行っていただいた。</p>	3	3	<p>○ 少人数の学校であるため、先生方の一人一人の子ども達への気配りができ、素直な子ども達が育っているようです。</p> <p>○ 各種コンクールに入選して素晴らしいと思います。</p> <p>○ 職員同士の学び合いは大切だと思います。</p> <p>○ 立腰や鉛筆の持ち方に重点的に取り組んでいるのはいいことだと思います。</p>

<p style="text-align: center;">徳育</p>	<p>【目標】豊かな心の教育の推進</p> <p>◎ 道徳や特別活動等との関連を踏まえた体験活動等を通して、児童一人一人に規範意識や思いやりの心を育む。</p> <p>【手段・ゴールイメージ】</p> <p>1 自他との関わりの中で自分を見つめることができる授業の展開</p> <p>2 小中9年間を見通した生活習慣の定着</p> <p>3 読書意欲を高める読書環境の整備</p> <p>4 家庭・地域への情報発信、教職員の個人目標の宣言、児童作品の新聞への投稿、児童の意識調査の比較による目標の設定</p>	<p>1 KSSVCなど、地域の方々の協力を得ることで、児童の心の成長につながるより豊かな体験活動を行うことができた。(米作り、昔の遊び、しめ縄作り、保育士体験、かくれ念仏洞の話など) ※1学末現在、ボランティアの延べ人数は約800人である。</p> <p>3年生では、福祉施設と連携し、高齢者疑似体験や交流活動を実施した。感動を味わい、本物に触れる体験活動を行うことができた。現在、卒業式に向けて、一人一鉢活動に取り組んでいる。</p> <p>2 基本的な生活に関する指導項目(あいさつ、礼儀、廊下歩行、清掃など)について、中学校と共通実践を行ってきた。あいさつについては、児童の意識も高まりつつあるが、個人差があるので個に応じた指導を継続していきたい。廊下歩行や無言清掃は、十分身に付いていない児童も見られるので、今後継続して指導していく必要がある。</p> <p>3 毎週月曜日の業前の時間に、地域ボランティア(永久津お話の会)の方々による読み聞かせを実施している。児童も大変楽しみにしており、今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>学校図書館協力員が、児童の図書貸出や図書館設営等を行っている。新刊図書を工夫して紹介するなど、児童の読書意欲を高める工夫を行ってきた。</p> <p>1月末現在、図書の総貸出差数は5435冊で、一人平均77.6冊である。目標の一人80冊に向けて読書意欲を高めていきたい。</p> <p>4 学校便り、ホームページ、徳育通信(永久津のころ)等で家庭や地域に向けての情報発信を行ってきた。</p> <p>年度当初に、教職員の個人目標を設定し、職員室前の廊下に掲示した。教職員は、常時意識しながら日常の教育活動に取り組んでいる。</p> <p>児童作品の作品展の応募や新聞への投稿に取り組んできた。</p>	<p style="text-align: center;">3</p>	<p style="text-align: center;">3</p>	<p>○ 地域の方々に感謝です。</p> <p>○ 毎朝、登校時に大きな声で挨拶をしてくれます。</p> <p>● 時々、こちらから挨拶をしないと挨拶をしない子が見られます。また、じっと顔を見て言わない子もいます。</p> <p>※ 学校だけでなく、地域でも挨拶ができるように今後も指導を継続していきます。</p> <p>○ ボランティアの方々にも感謝です。</p> <p>○ ホームページを見るのが楽しみです。</p> <p>○ ホームページで、学校の取組が分かります。</p>
---------------------------------------	--	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--

<p style="text-align: center;">体 育</p>	<p>【目標】 健やかな 身体の育成</p> <p>◎ 特色ある体力づくり活動等を通して、児童一人一人が健康・安全への意識を高め、命を守る力を身に付けることができるようにする。</p> <p>【手段・ゴールイメージ】</p> <p>1 個に応じた体力向上の推進</p> <p>2 実践的な危険予知・回避能力を育成するため、地域・保護者と協働した避難訓練の実施</p> <p>3 将来への健康への意識を高めるための保健指導の工夫改善</p> <p>4 家庭・地域との連携</p>	<p>1 体力テストでは、96種目中78種目で県平均を上回った。本校の児童の体力が県の平均と比べても高いことが明らかになった。学年間や男女間で体力差、個人差があるので、学年別・男女別・個別の取組が必要である。そこで、本年度も、「太陽の広場」での異学年交流を中心として体力の向上を図ってきた。11～12月は「持久走」に取り組み、現在は「なわとび」を通して体力向上に向けて取り組んでいる。</p> <p>家庭でもできる体力向上の取組については、全校集会で全児童に呼びかけを行ったり、学級通信、学級懇談会でも話題にして実施を呼びかけたりしたが、実施の状況把握まではできていない。定期的に取り組む振り返りの方法を考える必要がある。</p>	3	3	<p>○ 土の上を元気に走り回るのが一番いいと思います。</p> <p>○ 小体連水泳大会の県標準記録の突破は、児童にとって大変な自信になったのではと思います。先生方に感謝です。</p>
	<p>2 5月に風水害を想定した小中一貫した引き渡し訓練を実施した。その他、9月に地震を想定した避難訓練を行い、12月には火災を想定した避難訓練を消防署の協力を得ながら実施した。新燃岳噴火時は、緊急事態発生対応マニュアル全職員で再確認した。Jアラート等への対応についても至急取り組む必要がある。</p>	<p>○ 1分1秒を争うことがありますので、大事だと思います。</p> <p>● 小学校の下の木材置き場が危険です。いつも気になります。敷地内に絶対入らない様に周知してください。</p> <p>※ 現在、たくさんの材木が積み上げてあり大変危険な状況であるため、各学級や全体での安全指導を徹底していきます。</p>			
	<p>3 学級担任と養護教諭によるTTで保健指導に関する授業に取り組むことができた。(現在1・5・6年で実施済み、本年度中に全学年実施する。)</p> <p>養護教諭や学級担任の取組で、むし歯治療率が前年度より大きく伸びている。(1月末現在72.7%) 今後は、個別の指導を行いながらさらに治療率を上げていきたい。</p>	<p>○ 先生、保護者、地域の方々と一緒にできる運動会は小さな学校だけにいいことだと思います。</p>			
	<p>4 7月に小中合同で学校保健委員会を実施し、保護者が救急救命法について学ぶ機会を設けることができた。1月には「がんに関する授業」を実施し、親子で健康について学ぶことができた。</p> <p>9月の小中合同運動会は、平日にもかかわらず、多くの保護者や地域の方の協力を得て実施することができた。</p> <p>1月末現在、欠席0の日は71日である。</p>				

食育	<p>【目標】望ましい食習慣の育成</p> <p>◎ 学校と家庭・地域との連携を通して、児童一人一人が食に関する意識を高め、望ましい食習慣を身に付けることができるようにする。</p> <p>【手段・ゴールイメージ】</p> <p>1 自分の食習慣を振り返る授業や事業の展開</p> <p>2 一人一人の将来を見据えた食育指導の実施</p> <p>3 家庭・地域・関係機関との連携</p>	<p>1 低学年の生活科で野菜作りを実施したり、5年生の総合的な学習の時間に米作りを実施したりした。6年生は、大豆作りに挑戦した。2月に大豆プロジェクトを実施予定である。</p> <p>米作りや大豆作りの学習では、学校支援ボランティアを活用した授業を行うことができた。</p>	4	4	<p>○ 田植え、稲刈り等、それぞれ興味をもって楽しみながらやっていたようです。</p>
		<p>2 日常の給食指導では、学級担任を中心に食に関する指導の充実を図ってきた。90%以上の児童が好き嫌いなく食べると回答し給食の残食もほとんどない。今後は、養護教諭との連携でさらに食への関心を高めていきたい。また、給食時の放送で郷土料理の紹介をすることによって、地域の料理や地元の食材への関心を高めることができた。</p> <p>10月のモーモースクールでは、外部講師を招いて、乳しぼり体験やバター作りを通して、畜産についての児童の興味・関心を高めることができた。</p> <p>年間3回の「弁当の日」や長期休業中の「チャレンジクッキング」を実施し、各家庭で積極的に取り組んでいただいた。</p>			
		<p>3 食育に関する取組の様子をホームページで紹介するなど情報公開に努めてきた。</p> <p>10月には、1年生の保護者を対象に給食試食会を実施した。</p> <p>給食センターとの連携により、安全管理を徹底した学校給食に努めてきた。しかし、12月には、白菜に虫がついていた件で給食のメニューが変更になったことがあった。確実に安全な給食の提供ができるよう、給食センターとも密に連携したい。</p>			
		<p>○ 食育は、子ども達はもちろんですが、毎日の食事について保護者に食育を指導する機会があればと思います。</p>			

<p>次年度の方向性についての校長所見</p>	<p>本年度も保護者や地域の方々から多くのご支援、ご協力を得て、学校の教育目標の達成に向け諸活動を行うことができた。次年度は、研究公開の実施に向けて、「徳育」の指導についてさらに図り、自ら考え、感謝できる児童の育成をめざしていきたい。</p>
-------------------------	---